

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和6年7月12日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・ <u>地域連携DMO</u> ・地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	一般財団法人 VISIT はちのへ	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町	
所在地	青森県八戸市	
設立時期	平成31年4月1日	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	91人【常勤29人（正職員20人・出向等9人）、非常勤62人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 佐々木 伸夫 （出身組織名） （公社）八戸観光コンベンション協会	当団体の前身団体の1つである（公社）八戸観光コンベンション協会の副会長を務め、当団体設立以後も副理事長として当団体の事業を牽引し、令和6年7月11日に理事長に就任した。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 阿部 寿一「専従」 （出身組織名） 八戸市	令和3年3月末まで八戸市庁に勤務し、観光行政のほか、広報、統計、公営企業事業、議会と幅広い経験と知見を持つ。現在は、専務理事兼事務局長として、データ分析に基づく事業を統括している。
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 柿本 誠「専従」 （出身組織名） （一財）八戸地域地場産業振興センター	（一財）八戸地域地場産業振興センターに勤務し、現在は事務局次長兼総務管理課長として、これまでの豊富な経験を活かし、自社施設の管理運営をはじめ、持続可能な団体運営のため、財務状況の改善や財源確保に取り組んでいる。
誘客部門の責任者（専門人材）	（氏名） 高村 博現「専従」 （出身組織名） （一財）八戸地域地場産業振興センター	（一財）八戸地域地場産業振興センターに勤務し、現在は事務局次長兼誘客推進課長として、当地域の伝統行事である八戸三社大祭、八戸えんぶりなどの行催事の運営及び地域内の観光資源を活用した旅行商品造成支援に取り組んでいる。
物産振興部門の責任者（専門人材）	（氏名） 根城 英忠「専従」	（一財）八戸地域地場産業振興センターに勤務し、現在は物産振興課長として、自施設における展示

	(出身組織名) (一財) 八戸地域地場産業振興センター	即売事業、八戸市ふるさと寄附金 PR 支援事業、JR 駅等での物産展を行う物産推進事業等を所管し、物産振興に取り組んでいる。				
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市観光課（観光誘客）、八戸市商工課（物産振興） ・三戸町まちづくり推進課（観光誘客、物産振興） ・五戸町総合政策課（観光誘客、物産振興） ・田子町商工振興課（観光誘客、物産振興） ・南部町商工観光課（観光誘客、物産振興） ・階上町産業振興課（観光誘客、物産振興） ・新郷村企画商工観光課（観光誘客、物産振興） ・おいらせ町商工観光課（観光誘客、物産振興） ・青森県観光政策課・誘客交流課（観光誘客） ・青森県産品販売・輸出促進課（物産振興） ・青森県三八地域県民局地域連携部（観光誘客） 					
連携する事業者名及び役割	<ul style="list-style-type: none"> ・観光誘客における連携事業者： 八戸商工会議所、鮫観光協会、種差観光協会、南郷観光協会、三戸町観光協会、五戸町観光協会、田子町観光協会、南部町観光協会、はしかみ観光ネットワーク、新郷村観光協会、おいらせ町観光物産協会、八戸ホテル協議会、八戸情報共有会、JR 東日本旅客鉄道盛岡支社、岩手県北バス、八戸市交通部、八戸市タクシー協会、AC プロモート、八食センター、湊日曜朝市会、八戸横丁連合協議会、青い森信用金庫、環境省 ・物産振興における連携事業者 八戸商工会議所、南郷商工会、三戸町商工会、五戸町商工会（新郷支所含む）、田子町商工会、南部町商工会、階上町商工会、おいらせ町商工会、三八地区商工会連絡協議会、八戸水産加工業協同組合連合会 					
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	<p>【該当する登録要件】①</p> <p>(①取締役、理事など観光地域づくり法人の意思決定に関与できる立場で行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通等の幅広い分野の関係団体の代表者が参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の副市長、副町長及び副村長、青森県、物産事業者及び産業団体から構成される評議員会を年 1 回程度開催し、産業間・地域間での連携及び合意形成を図っている。 ・圏域内の観光物産事業者、宿泊事業者及び金融機関等、多様な民間企業等を中心に構成される理事会を年 4 回程度開催し、産業間・地域間での連携及び合意形成を図っている。 ・当団体の取組への理解を深めること及び圏域内の行政、観光及び商工団体からの意見聴取と情報共有を行うこと目的として、関係団体により構成される VISIT はちのへ推進部会を年に 1 回開催している。 					
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・当団体の取組及び観光地域づくりに関する意識啓発を目的として、年 1-2 回程度セミナーを実施。 ・当団体が行っている事業等について、随時地元メディアへのプレスリリースを行い、地元メディアによる記事掲載、テレビ放映、ラジオ放送等を通じて、地域住民に対する意識啓発に努めている。 					
法人のこれまでの活動実績	<p>【活動の概要】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th><th>2023 年度（令和 5 年度）実施概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・当団体 HP の情報更新や新規ページ作成 ・当エリアの観光・物産等の旬な情報の SNS 上での発信 ・当エリアの写真提供やイベント情報等の記事校正への対応 ・当エリアの観光・物産及びイベント等の情報について、メディアへのプレスリリース </td></tr> </tbody> </table>		事業	2023 年度（令和 5 年度）実施概要	情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・当団体 HP の情報更新や新規ページ作成 ・当エリアの観光・物産等の旬な情報の SNS 上での発信 ・当エリアの写真提供やイベント情報等の記事校正への対応 ・当エリアの観光・物産及びイベント等の情報について、メディアへのプレスリリース
事業	2023 年度（令和 5 年度）実施概要					
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・当団体 HP の情報更新や新規ページ作成 ・当エリアの観光・物産等の旬な情報の SNS 上での発信 ・当エリアの写真提供やイベント情報等の記事校正への対応 ・当エリアの観光・物産及びイベント等の情報について、メディアへのプレスリリース 					

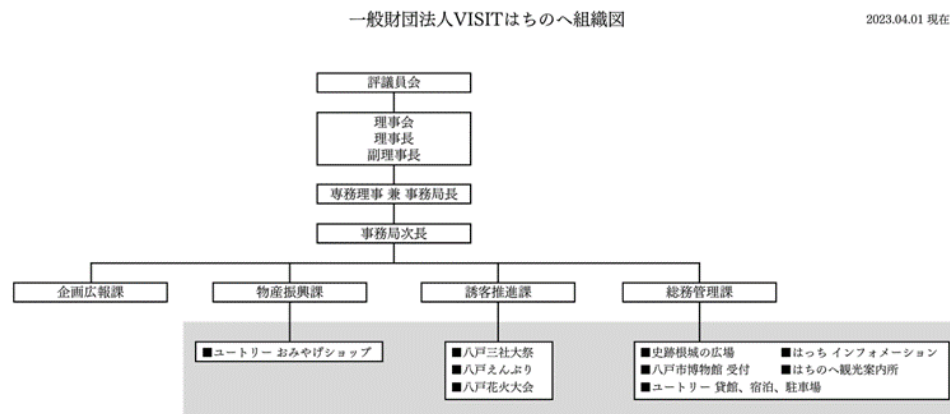
		<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏及び仙台メディアとの関係性構築 ・観光パンフレット及びポスター制作 ・「八戸 観光」「八戸 お取り寄せ」などキーワード検索をした、当エリアに興味・関心が高い旅行者・消費者を対象とした、オンライン広告の配信 ・当エリアの魅力を広く国内外に伝え、誘客促進及び地域産品の消費促進へ繋げるために必要となる観光・物産資源の写真撮影 ・台湾に配置したエージェントを通じて、現地旅行会社やメディア等へ当エリアの魅力的なコンテンツの内容、宿泊施設、交通手段等について継続な情報提供
	受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・三陸復興国立公園種差海岸で活動するガイド育成を目的に、種差海岸インフォメーションセンターへの来訪者向けガイドプログラムの開催や、ガイド間の情報交換を実施 ・まちあるきガイド団体間のネットワーク化支援 ・燕島・種差海岸及び館鼻岸壁朝市へのアクセス向上を目的とした、種差海岸遊覧バス・日曜朝市循環バスの運行 ・観光庁補助事業「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」を活用した、民間事業者が行う種差海岸エリアの開発支援 ・はちのへ観光案内所の運営（市委託事業）
	観光資源の磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・地元団体と連携した体験プログラムの開発 ・旅行会社を招請し、旅行商品造成視点での地域事業者へのフィードバックの実施
	<p>（定量的な評価）</p> <p>○情報発信・プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP の閲覧数は約 265 万 PV ・SNS での発信 658 回 ・メディア訪問 5 社、メディア招請ツアー 2 社 ・プレスリリース回数 19 回 ・台湾、英国における記事掲載数 61 回 <p>○受入環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドプログラムの開催回数 25 回 ・まちあるきガイド団体合同検討会 4 回 ・種差海岸遊覧バス利用者数 23,865 人 ・日曜朝市循環バス利用者数 5,994 人 ・種差海岸周辺の宿泊施設、飲食施設、観光施設計 6 事業者の施設改修等支援 ・はちのへ観光案内所での案内件数 10,035 件 <p>○観光資源の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・招請した旅行会社数 4 社 	

実施体制

※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】

- ・評議員会（年 1 回程度）
- ・理事会（年 4 回程度）
- ・VISIT はちのへ推進部会（年 1 回程度）

【実施体制図】

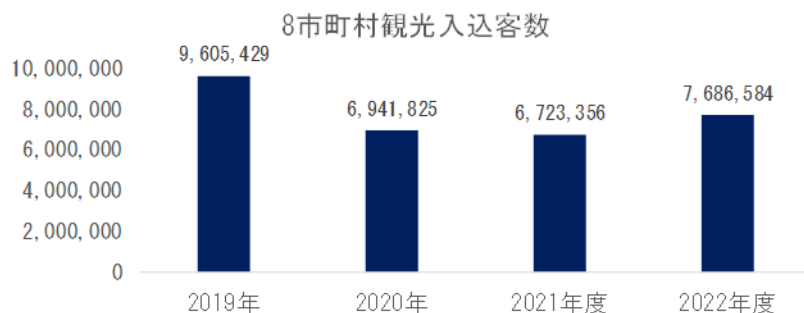
2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】**【区域設定の考え方】**

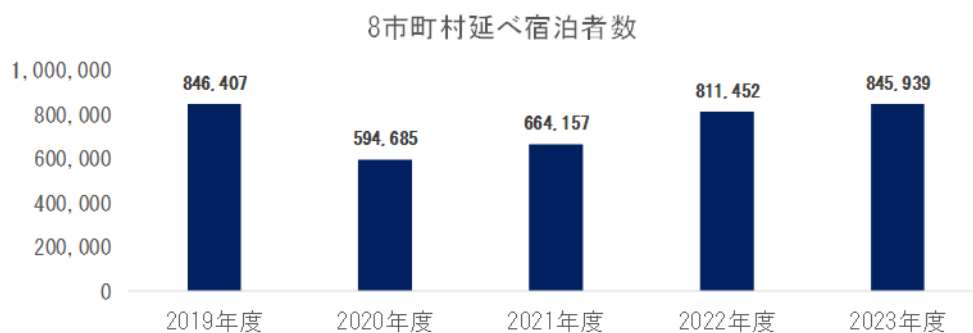
- ・八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町の 8 市町村は、藩政時代から歴史的・文化的な共通点が多く、方言や粉もの文化など独自性の強い文化を共有してきた地域であり、現在では、当該 8 市町村にて八戸圏域連携中枢都市圏を形成し、地域活力の創出を目的とした連携事業に取り組んでいる。
- ・当圏域において、(一財)VISIT はちのへの事業統合団体である八戸広域観光推進協議会は、平成 20 年 7 月に設立以来、当該地域の特性や資源を活かした新たな観光商品やメニュー等を開発・商品化するなど、広域連携による観光振興を牽引してきた。平成 29 年 3 月、当圏域の行政、商工、観光団体等の多様な主体が参画し、「はちのへエリア広域観光戦略」を策定した。
- ・今後、当圏域が、訪日外国人の増加、国内旅行市場の縮小などの変化に対応し、観光を通じて、地域産業の振興やまちづくりの推進、ひいては地域の活力創出につなげていくためには、これまでのつながりを更に深化させながら、圏域 8 市町村の有する魅力的な資源を活用していくことが必要不可欠である。よって、当団体がマネジメント及びマーケティングする区域として、当該 8 市町村が適切である。

【観光客の実態等】

※設定区域における観光客入込客数、延べ宿泊者数、消費額等を踏まえて記入すること。



出典：令和4年青森県観光入込客統計



出典：一般財団法人VISITはちのへが行った8市町村宿泊実績調査



出典：一般財団法人VISITはちのへが行った8市町村宿泊実績調査

		宿泊客	前年度比	日帰り客	前年度比	順位	都道府県名	前年度比	構成比
平均旅行消費額（1人当たり 単位：円）		26,441	107%	5,213	94%	1	東京都	111%	19%
	お土産費	4,988	97%	2,030	89%	2	青森県	74%	14%
	飲食費	8,184	106%	1,970	99%	3	神奈川県	129%	11%
	交通費	2,079	96%	852	87%	4	宮城県	81%	9%
	宿泊費	10,487	115%			5	岩手県	122%	6%
	施設入場料や体験料、その他	700	118%	361	137%				

※出典：はちのへエリアマーケティング調査

当圏域の2023年度延べ宿泊者数は、845,939人泊（前年度比約104%）となり、令和元年度比約99%と、人流がコロナ禍前の水準まで回復傾向にある。また八戸市内の2023年度外国人延べ宿泊者数

は、令和元年度を上回った。また、宿泊客の1人当たりの平均旅行消費額は26,441円（前年度比107%）となり、前年度に比べて特に宿泊費が増加している。

宿泊客の居住都道府県は、東京都・神奈川県が前年度に比べて増加しており、宿泊客全体の約3割程度を占める。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

※観光資源の活用方法についても記入すること。

- ・地元ガイドが館鼻岸壁朝市や横丁を案内する「まちあるき」
 - ・はちのへエリアの豊かな食を支える農家での収穫体験や調理体験を通して、地域の人とのふれあいができるコンテンツ
 - ・農家民泊での田舎体験など、ゆっくりとしたやすらぎの時間を過ごすことができるコンテンツ
 - ・歴史のある酒蔵を見学し当エリアの地酒のファンになってもらうコンテンツ
 - ・ガイドが案内する三陸復興国立公園種差海岸のトレッキングや、海でのアクティビティが楽しめるコンテンツ
 - ・YSアリーナやFLAT HACHINOHEのMICE施設としての活用
- 観光資源となる自然、歴史・民俗、食、観光施設等の一覧は下記の通り。

市町村名 分野	八戸市		三戸町
自然景勝地	・ 三陸復興国立公園（種差海岸・燕島） ・ みちのく潮風トレイル ・ 三陸ジオパーク ・ 八戸市民の森「不習岳」		・ 三戸城跡城山公園
歴史・民俗	・ 櫛引八幡宮 （国宝 赤糸織鎧兜大付、 白糸緋褌取鎧兜大袖付） ・ 清水寺観音堂 ・ 八戸市埋蔵文化財セン ター 是川縄文館 （国宝 合掌土偶） ・ 史跡根城跡 ・ 史跡是川石器時代遺跡 （ユネスコ世界文化遺産） ・ 燕嶋神社	・ 更上閣（主屋等） ・ 八戸酒造 ・ 八戸えんぶり ・ 八戸三社大祭 ・ 加賀美流騎馬打毬 ・ 鮫の神楽 ・ 法霊神楽	・ 三戸城跡城山公園 ・ 関根の松 ・ 奥州街道、駕籠立場一里塚 ・ 斗内千人塚 ・ 泉山の登拝行事 ・ 佐藤家建物群 ・ 斗内獅子舞
スポーツ施設	・ 長根公園 （長根屋内スケート場） ・ 新井田公園 ・ 新井田インドアリンク ・ 東運動公園 ・ FLAT HACHINOHE	・ 南部山健康運動公園 ・ 八戸市多賀多目的運 動場 ・ 八戸市屋内トレーニ ングセンター ・ カッコーの森エコー ランド	・ 三戸町スポーツ文化福祉 複合施設（アップルドーム） ・ 町民体育館 ・ サン・スポーツランド三戸 ・ 松原運動公園 ・ さんのへパークゴルフ場
芸術文化施設	・ 八戸市公会堂 ・ 八戸市美術館 ・ 八戸市博物館 ・ 安藤昌益資料館 ・ 南部会館	・ 羽仁もと子記念館 ・ 南郷文化ホール ・ ジャズの館 ・ 南郷歴史民俗資料館 ・ 八戸ブックセンター	・ 歴史民俗資料館 ・ アップルドームほのぼの館
レクリエーション施設	・ 八戸公園 （こどもの国、植物公園） ・ 白浜海水浴場 ・ 燕島海水浴場	・ 水産科学館マリエン ト ・ 山の楽校	・ 金洗沢公園 ・ 三戸城跡城山公園
産直施設	・ 八菜館 ・ 道の駅なんごう ・ 朝もやの館		・ 道の駅さんのへ ・ SAN・SUN産直ひろば

会場 その他	・ 八戸ポータルミュージアム	・ まちの楽校
	<ul style="list-style-type: none"> ・ グレットタワーみなと ・ 世増ダム（青葉湖） ・ 八戸石灰鉱山（八戸キャニオン） ・ 八食センター ・ ユートリー ・ 中央卸売市場 ・ 八戸市魚菜小売市場 ・ 館鼻岸壁朝市等の朝市 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横丁文化（みろく横丁等） ・ 青森伝統工芸品（八戸焼、南部裂織、南部菱刺し、八幡馬、南部姫毬、えんぶり烏帽子、南部総桐箆等） ・ 八戸せんべい汁 ・ 八戸前沖さば ・ 八戸ブイヤベース ・ 南郷そば
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三戸望郷大橋 ・ 太子食品工業(株) ・ 青森伝統工芸品（南部総桐箆等） ・ つつけ（かけ） ・ ひつつみ ・ 三戸せんべい ・ くしもち ・ ジョミ（ガマズミ） 	

市町村名 分野	五戸町	田子町
自然景勝地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桜沼公園 ・ 日本一のカシワの木 ・ 槍沢のしだれ桜 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みろくの滝 ・ 大黒森の山つつじ ・ 四角岳 ・ 白萩平
歴史・民俗	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧圓子家住宅 ・ 石沢の駒踊り ・ 江渡家住宅 ・ 五戸代官所 ・ 奥州街道 ・ 新山神社 ・ 中市城址 ・ 寶福寺 ・ 五戸町消防団第一分団屯所 ・ 明治天皇行在所 ・ 館町神楽舞 ・ 中市神楽舞 ・ 五戸えんぶり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 奇峰学秀の仏像 ・ 若宮八幡宮（亀千代最期の地） ・ 旧橋本家住宅 ・ 田子神楽 ・ 真清田神社
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひばり野公園（陸上競技場〈天然芝サッカーコート〉、野球場、人工芝サッカー場、テニスコート） ・ 五戸ドーム ・ 倉石スポーツセンター 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創遊村 229 スキーランド ・ 農業者トレーニングセンター ・ 町民プール ・ 農山村広場
芸術文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史みらいパーク（図書館、木村秀政ホール） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブコピアンプラザ
レクリエーション施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ たんぼのゆっこ ・ 五戸まきば温泉 ・ 小渡平公園 ・ 倉石温泉 ・ ふれあい体験の郷 ・ 牧内森林公園 ・ ひばり野ダリア園 ・ 正子のチューリップ園 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブコピ創遊村 ・ 大雷鉢砂防愛ランド ・ みろくの滝親水公園 ・ みろく館
産直施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあい市ごのへ ・ 夢の森ハイランド ・ JA八戸ごのへ直売所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガーリックセンター ・ JA八戸田子ストア ・ 関所の茶屋 ・ 産直たっこや
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八戸酒類(株)五戸工場 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロッジカウベル

	<ul style="list-style-type: none"> ・青森伝統工芸品 (五戸ばおり、南部菱刺し、南部裂織) ・倉石牛 ・馬肉料理 ・青森シャモロック 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンモールたっこ商店街 ・たっこにんにく ・田子牛 ・ガーリックステーキごはん
分野 \ 市町村名	南部町	階上町
自然景勝地	<ul style="list-style-type: none"> ・名久井岳 ・法光寺の千本松 	<ul style="list-style-type: none"> ・三陸復興国立公園(階上岳、階上海岸) ・みちのく潮風トレイル ・三陸ジオパーク
歴史・民俗	<ul style="list-style-type: none"> ・南部利康霊屋 ・南部利直霊屋 ・史跡聖寿寺館跡 ・白華山 法光寺 承陽塔(三重の塔) ・福田上えんぶり組 ・南部手踊り 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋部えんぶり ・赤保内駒踊り ・平内鶏舞 ・平内えんぶり ・田代えんぶり ・道仏神楽 ・寺下観音
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・名川B & G海洋センター ・ふるさと運動公園 ・スパークながわ ・モーターランドSP ・ふくちアイスアリーナ ・町民体育館 	<ul style="list-style-type: none"> ・石鉢ふれあい交流館 ・町民プール ・八戸カントリークラブ ・中央体育館 ・町民体育館 ・あおぞらテニスコート
芸術文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ・南部芸能伝承館 ・名久井焼見学院窯陶芸の森美術館 ・楽楽ホール 	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗資料収集館 ・道仏交流センター
レクリエーション施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくちふれあい体験農園 ・名川チェリリン村 ・長谷ぼたん園 ・ふるさとの森公園 ・バーデハウスふくち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと河川公園 ・階上岳つつじの森キャンプ場 ・ハートフルプラザはしかみ ・わっせ交流センター ・交流の森広場 ・アスナ公園 ・山館前公園
産直施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくちジャックドセンター ・名川チェリーセンター ・そばの里けやぐ ・なんぶふるさと物産館 	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅はしかみ ・フォレストピア階上 ・わっせ交流センター ・はしかみハマの駅 あるでい〜ば
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・南部町営地方卸売市場 ・ポートピアなんぶ ・ゼネラル・レクラーク ・食用菊（阿房宮） ・南部達者米 ・南部太ねぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ・階上灯台、小舟渡園地 ・いちご煮 ・階上早生階上そば ・早生そば加工品 (焼酎、シフォンケーキ等)
分野 \ 市町村名	新郷村	おいらせ町
自然景勝地	<ul style="list-style-type: none"> ・水芭蕉群生地 ・迷ヶ平自然休養林 ・日本一ダケカンバ(樹木) 	<ul style="list-style-type: none"> ・根岸の大いちょう ・間木堤白鳥飛来地 ・いちょう公園（自然散策道）

	<ul style="list-style-type: none"> ・水と緑の森「平子沢」 ・戸来岳 ・十和利山 ・権現の滝 	
歴史・民俗	<ul style="list-style-type: none"> ・金ヶ沢鶏舞 ・ナニヤドヤラ ・キリストの里公園（キリストの墓） ・大石神ピラミッド ・三嶽神社（戸来、西越） ・長泉寺（金ヶ沢） 	<ul style="list-style-type: none"> ・氣比神社 ・本村鶏舞 ・史跡阿光坊古墳群・百石えんぶり ・聖観世音菩薩立像・本村獅子舞 ・日ヶ久保虎舞 ・百石まつり ・下田まつり
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・都市農村交流センター美郷館 ・村営金ヶ沢スキー場 ・村営プール 	<ul style="list-style-type: none"> ・いちょう公園 ・下田公園 ・町民交流センター ・いちょう公園体育館
芸術文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ・キリストの里伝承館 	<ul style="list-style-type: none"> ・大山将棋記念館 ・白鳥の家 ・民具ふれあい館 ・おいらせ阿光坊古墳館 ・縄文の森イベント広場
レクリエーション施設	<ul style="list-style-type: none"> ・野沢温泉「鷺の湯」 ・新郷温泉館「鷺の湯」 ・間木ノ平グリーンパーク ・間木ノ平グリーンファーム ・迷ヶ平キャンプ場 ・平子沢水と緑の森のキャンプ場 	<ul style="list-style-type: none"> ・しもだサーモンパーク ・下田公園キャンプ場 ・カワヨグリーン牧場 ・海浜公園 ・いちょう公園
産直施設	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅しんごう ・新郷村地場産品直売センター ・キリストっぷ 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PRセンター「味祭館」 ・アグリノ里おいらせ ・おはよう広場
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・川代ものづくり学校 ・田んぼの楽校 	<ul style="list-style-type: none"> ・向山駅ミュージアム

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

- ・当圏域内の宿泊施設は、八戸市に集中しており、同市には宿泊施設が約 50 施設あり、約 3,000 室の収容力がある。宿泊施設の規模は、部屋数 200 室を超える宿泊施設は 2 施設、100 室以上 200 室未満の宿泊施設は 8 施設である。宿泊施設のタイプはビジネスホテルが大半を占める。

【利便性：区域までの交通、域内交通】

- ・首都圏等から当圏域の玄関口である八戸市への主要アクセスは、以下のとおり。

○鉄道

東京都：約 2 時間 45 分（東北新幹線「東京駅」）

仙台市：約 1 時間 10 分（東北新幹線「仙台駅」）

青森市：約 25 分（東北新幹線「新青森駅」）

函館市：約 1 時間 30 分（北海道新幹線「新函館北斗駅」）

○飛行機（各空港－三沢空港、三沢空港－八戸の連絡バスの所要時間を加えた時間）

東京（羽田）：約 2 時間 10 分（羽田－三沢空港：1 時間 20 分、三沢空港－八戸：約 50 分）

大阪（伊丹）：約 2 時間 20 分（伊丹－三沢空港：1 時間 30 分、三沢空港－八戸：約 50 分）

- ・東北新幹線八戸駅（八戸市）から区域内各町村への所要時間は、自動車です 1 時間 30 分程度。

【外国人観光客への対応】

- ・英語版/繁体字版 HP の運用
- ・多言語支援サービス（ガイドア）を区域内の自治体へ紹介及び導入支援
- ・英語版フェイスブック及びインスタグラムの運用

- ・多言語版パンフレットの作成（英語、中国語（繁体字・簡体字）・ハングル）
- ・観光案内所「はちのへ総合観光プラザ」において、外国語での案内が可能な職員を配置するほか、Wi-Fi 環境を整備（カテゴリーⅡ対応）。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
延べ宿泊者数	DMO の取組効果の把握と今後の効果的な施策立案につなげるため	毎月当圏域内の宿泊施設からの宿泊実績の提供
旅行消費額（平均）	DMO の取組効果の把握と今後の効果的な施策立案につなげるため	当圏域内の宿泊施設、交通機関、及び物産販売施設等 80 施設で来訪者アンケート（QR コード掲載）を実施
来訪者満足度	満足度及び課題の把握につなげるため	同上
リピーター率	DMO の取組効果把握と今後の効果的な施策立案につなげるため	同上
WEBサイトのアクセス状況	今後の効果的な情報発信に関する施策立案につなげるため	当団体 HP へのアクセス状況について、GA4 を活用

4. 戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

現在、産業構造のほか、「モノ消費」から「コト消費」といった消費者ニーズの変化が生じており、当圏域においてもその変化に柔軟に対応しながら地域経済を維持していくことが求められている。

このような中、当圏域において持続可能な地域づくりを実現するためには、国の輸出産業４位の観光関連産業の活性化が大変重要であり、その手段として、観光誘客及び物産振興に対する期待と役割が非常に大きくなっている。

一方で、2020 年度から 2022 年度にかけて、市内の宿泊施設が 4 施設閉館となったほか、当圏域は出張による来訪客が多いことから宿泊施設は主にビジネスホテルであり、特にインバウンドを中心とした高付加価値旅行者が宿泊先として選定する可能性がある施設は少ない。そのような中、2023 年度観光庁補助事業「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」に採択され、三陸復興国立公園内に民間事業者による宿泊施設の開業準備が進むなど、ビジネス需要以外の来訪客獲得に向けた動きが生まれつつある。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み（Strengths） ○自地域で積極的に活用できる強みは何か？ <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな海岸地形・自然景観（三陸復興国立公園等） ・縄文時代・藩政時代などの歴史・史跡 ・当地域の人柄と暮らしぶり（方言・素朴さ） ・朝市・横丁などの生活文化 ・豊かな自然から生み出される新鮮な農産物 	弱み（Weaknesses） ○自地域で改善を必要とする弱みは何か？ <ul style="list-style-type: none"> ・国内外における認知度の低さ ・二次交通 ・外国人観光客受入体制の強化 ・地域資源の活用・磨き上げ・商品づくり ・団体旅行の宿泊が可能な宿泊施設が少ない

	や海産物 ・ 冷涼な風土で発達した独自の粉もの文化	・ 高付加価値旅行者が求める水準を満たす宿泊施設がない
外部環境	機会 (Opportunity) ○自地域にとって追い風となる要素は何か？ ・ 陸・海・空の交通アクセスの充実 (新幹線、高速道路、フェリー、空港など) ・ 地方部への外国人観光客の誘客促進ための国レベルでの施策の実施 ・ みちのく潮風トレイルを始めとした、地方部の自然に対する旅行者ニーズの高まり	脅威 (Threat) ○自地域にとって逆風となる要素は何か？ ・ 少子高齢化による人口減少 ・ 地域間における旅行需要取り合いの激化 ・ 消費者における加速する情報収集行動と購買行動のオンライン化

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

(3) ターゲット

<p>○第1ターゲット層</p> <p>インバウンドについて、誘客のメインターゲットは台湾、サブターゲットは、イギリス・米国等の英語圏であり、双方ともに地方部に関心をもつ個人及び少人数での旅行者。</p> <p>○選定の理由</p> <p>台湾をメインターゲットとした理由は、これまでの当圏域の宿泊実績及び青森県、東北観光推進機構をはじめとする東北の各団体との連携した取組による集客増加の見込みが高いため。サブターゲットをイギリス・米国等の英語圏とした理由は、これまで当団体で活動してきたイギリスからの旅行者の誘客にむけた取組の蓄積、みちのく潮風トレイルや伝統芸能など当圏域にあるコンテンツとの相性の良さ、加えて、米軍基地がある三沢市に近接している当圏域の立地を活用するため。</p> <p>また当圏域には、団体旅行客の宿泊に適した宿泊施設が少ないため、個人及び少人数での旅行者を選定した。</p> <p>○取組方針</p> <p>台湾へ現地エージェントを設置し、そのエージェントによる現地メディアや旅行会社への情報提供や営業訪問を通じて認知獲得を図るほか、現地メディア等の招聘に取り組み、当圏域への来訪を促進する。また、現地エージェントを通じて、台湾における当圏域のポジショニング（認知度、強み及び課題）を把握し、強みについては磨き上げを行い、課題については関係団体と連携して解決を図る。</p> <p>また、イギリス・米国等の英語圏については、特に旅行時の行動範囲が広く、当圏域での滞在だけで旅行が完結しないことを前提に、当圏域が旅先として含まれるよう周辺DMO等と連携したプロモーション活動やFAMツアーへの対応を行っていく。</p>
<p>○第2ターゲット層</p> <p>まだまだ知られていない地方独特の文化、地域住民の暮らしぶり、開放感を感じられる自然に興味関心が強く好奇心がある、首都圏在住の観光客。</p> <p>○選定の理由</p> <p>当団体が実施した2023年度の来訪者アンケート調査結果から、東京都・神奈川県からの宿泊客が宿泊客全体の3割を占めている。また、1人あたりの平均旅行消費額は、首都圏からの来訪客の方が、近隣からの来訪客に比べて高い結果であった。</p> <p>さらに、当圏域への来訪動機として食、自然や文化等への満足度もあることから、首都圏在住で地方独特の文化、地域住民の暮らしぶりや開放感を感じられる自然に興味関心を持つ来訪客の増加を目指すことが有効と考える。</p> <p>○取組方針</p> <p>当団体による認知浸透度調査の結果から、関東圏における旅先としての八戸市の認知度及び興味関心度、検討度等は下記数表の通りとなり、高い状況とはいえない。当圏域の各観光コンテンツの認知度も高くない。</p>

＜関東圏における八戸市の旅先としての認知度、興味関心度、検討度等＞

認知度	興味関心度	検討度	交通手段の把握度	来訪実績
46.1	20.2	11.2	20.2	9.7

これらの状況を踏まえると首都圏からの来訪客を増やすために、まず、当圏域の認知度向上のための施策が必要と考えられる。具体的には、雑誌等への記事掲載及び番組等を通じた地域の露出機会の増加に向けて、SNS を活用した情報及びオンライン広告を配信するほか、首都圏メディアとの関係性構築を図る。同時に、旅行商品造成を目的とした旅行会社招請等、当圏域の魅力を活かした誘客推進に関する施策に取り組む。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	はちのへエリアだからこそその“ひとの魅力”と“暮らしぶり”が守られ、伝わっていること
②コンセプトの考え方	地域に暮らす人の温厚でまじめといわれる人柄、朝市や横丁文化などといった古くから受け継がれ今も営まれている素朴な暮らしは、当圏域ならではの独自の魅力である。また、来訪者アンケート結果においても、「人柄がよい」「優しい人が多い」という回答が多いことから、当圏域の人の魅力は、他地域との差別化の要素であり、この「人」の営みである暮らしぶりを守り伝えることは、来訪客の満足度を高める上で、当圏域の強みとなる。また、当圏域にある三陸復興国立公園種差海岸は、海岸線の自然景観で国立公園に指定される一方で、漁場などを中心として人々の生活が息づくなど、自然と地域の人々の営みが共存する国立公園である。このように、自然の魅力に加えて、地域の人々の生活の魅力が共存することは、国内からの来訪客だけではなく、訪日外国人客にとっても来訪する価値があるものとする。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	当団体の取組への理解の深化及び当圏域の行政、観光及び商工団体からの意見聴取と情報共有を行うこと目的として、当圏域の関係団体に体より構成される VISIT はちのへ推進部会を年に１回開催している。 また、当圏域内の物産事業者、宿泊事業者、金融機関等多様な民間企業等を中心に構成される理事会を年４回程度開催し、産業間・地域間での連携及び合意形成を図っている。 さらに、年に１、２回程度、主に当団体の会員向けに開催しているセミナーにおいても、当団体の戦略及び取組について説明している。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	当地域内の宿泊施設・観光物産施設等において、来訪者向けにアンケート（QR コード）を実施し来訪者の属性や当地域への来訪状況などを把握する。 アンケート結果から、来訪動機や来訪中の不満のほか、KPI 達成状況を評価する。評価を踏まえた事業内容を検討し、理事会における決定を経て、サービスの維持及び向上につながる取組を展開していく。

	<p>また、上記アンケートの告知物掲載への協力施設や圏域市町村担当課に向けて、アンケートの集計結果をフィードバックし、サービスの向上に取り組んでいる。</p> <p>加えて、当団体が運営を受託しているはちのへ観光案内所に寄せられたお客様の声の中から改善が必要な内容については、関係団体と共有し、サービス向上に努めている。</p>
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<p>当圏域の観光情報を当団体 HP や SNS で情報発信するとともに、各種プレスリリースやメディアとの関係性構築によるメディアでの記事掲載機会の創出により、当圏域の観光・物産情報等を一元的に発信する。</p> <p>加えて、HP や SNS の閲覧状況やオンライン広告への反応等を分析し、より効果的にプロモーションを行う。</p> <p>なお、効果的な情報発信のためには、圏域内自治体及び民間事業者等からの情報提供が必要不可欠であるため、定期的に情報提供について呼びかけを行っている。</p> <p>また、インバウンド向けには、台湾現地に配置したエージェントによる、現地旅行会社やメディア等に対して、当圏域の商品・サービス、宿泊施設、交通手段等に関する継続的な情報提供を実施するとともに、他市場については周辺 DMO、青森県及び東北観光推進と連携をしたプロモーションを行う。</p>

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. K P I（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

（1）必須K P I

指標項目		2021 (R 3) 年度	2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度	2026 (R 8) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	未設定 (-)	12,191 (-)	12,235 (-)	12,626 (-)	未設定 (未設定)	未設定 (未設定)
	実績	8,630 (-)	10,373 (-)	13,394 (-)			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	835 (-)	860 (-)	800 (-)	810,000 (23,600)	未設定 (未設定)	未設定 (未設定)
	実績	664 (0.3)	811 (0.8)	846 (2.5)			
●来訪者満足度 (%)	目標	39 (-)	40 (-)	41 (-)	42 (-)	未設定 (未設定)	未設定 (未設定)
	実績	33.9 (-)	33.8 (-)	38 (-)			
●リピーター率 (%)	目標	66 (-)	66 (-)	66 (-)	66 (-)	未設定 (未設定)	未設定 (未設定)
	実績	71.4 (-)	70.3 (-)	70.6 (-)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

当圏域の広域観光戦略「はちのへエリア広域観光戦略」の成果指標設定のため、同戦略を策定した八戸広域観光推進協議会が主体となり、「はちのへエリア観光マーケティング調査」によりデータ収集を行うとともに、当圏域の行政、観光及び商工団体によるワーキング会議を開催し、当該会議にて「旅行消費額」「延べ宿泊者数」「来訪者満足度」「リピーター率」についての目標値を設定したもの。これらを基に、VISIT はちのへ中期事業計画（2020-2024）において目標値設定を行ったが、外部環境の変化も踏まえて 2024 年度目標値の修正を行った。（2022 年度）

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

算出方法は、「宿泊者の平均旅行消費額×宿泊者数」にて算出。なお、宿泊者の平均旅行消費額は、来訪者アンケート、宿泊客数は、「延べ宿泊者数÷平均滞在日数（来訪者アンケート）」により算出。宿泊客の平均旅行消費額の目標設定は、2020 年度～2022 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響減少したものの、物価高騰などの外部要因も考慮し、2024 年度には新型コロナウイルス感染拡大以前の 2019 年度の水準（25,259 円）を上回る回復（26,000 円/1 人）を目指す目標設定とした。

●延べ宿泊者数

2023 年度の延べ宿泊者数は、2019 年度比で 99%となった。回復傾向にある一方で、19 年度と比べて当地域の宿泊施設が 4 件（部屋数では 200 室）減少している。2025 年度に国内市場及びインバウンド市場が 2019 年度並みに回復すると予想する外部機関の調査結果、現在の宿泊可能部屋数を踏まえ目標設定とした。

●来訪者満足度

宿泊客の来訪者満足度の 2017 年 12 月速報値（宿泊客:35.5%、日帰り客:28.7%）を対象とし、2018 年度は現状維持、2019～2022 年度は、前年度比 1%増を目標値に設定。2025 年度に向けても同様に、対前年度比 1%増を目標値として設定する。

●リピーター率

宿泊客のリピーター率の 2017 年 12 月速報値（宿泊客:65.8%）を対象とし、2019～2022 年度は、前年度維持を目標値に設定。2025 年度に向けても同様に、前年度維持を目標値とする。

インバウンド客の各指標について、2023 年度より、当圏域に来訪した外国人旅行者へのアンケート調査を行ったが、回答件数が少なかった。十分な回答件数に基づき目標設定を行うため 2024 年度も継続してアンケートを行う。

なお、2025 年度以降の目標値設定は、2024 年度策定予定の VISIT はちのへ中期事業計画（2025-2029）において実施する予定。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後 3 年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去 3 年間の実績も記入すること。

(1) 収入（経常収益）

年（年度）	総収入（千円）	内訳（具体的に記入すること）（単位：千円）
2021（R3） 年度※実績	359,880	【事業収入等】 243,195 【国補助金等】 3,759 【市町村からの補助金（八戸市）】 14,553 【八戸市からの業務受託及び指定管理等】 77,052 【負担金収入（圏域町村分他）】 2,910 【会費収入】 10,858 【その他】 7,553
2022（R4） 年度※実績	589,848	【事業収入等】 301,446 【国補助金等】 0 【市町村からの補助金等】 147,455 【八戸市からの業務受託及び指定管理等】 120,086 【負担金収入（圏域町村分他）】 2,910 【会費収入】 10,935 【その他】 7,016
2023（R5） 年度※実績	683,891	【事業収入等】 301,682 【国補助金等】 6,059 【市町村からの補助金等】 196,091 【八戸市からの業務受託及び指定管理等】 124,143 【負担金収入（圏域町村分他）】 2,910 【会費収入】 11,092 【家賃収入】 36,382 【雑収入】 5,532
2024（R6） 年度※予定	719,756	【事業収入等】 323,057 【国補助金等】 0 【市町村からの補助金等】 201,246 【八戸市からの業務受託及び指定管理等】 144,207 【負担金収入（圏域町村分他）】 2,910 【会費収入】 12,125 【家賃収入】 35,334 【雑収入】 877
2025（R7） 年度※予定	719,756	【事業収入等】 323,057 【国補助金等】 0 【市町村からの補助金等】 201,246 【八戸市からの業務受託及び指定管理等】 144,207 【負担金収入（圏域町村分他）】 2,910 【会費収入】 12,125 【家賃収入】 35,334 【雑収入】 877
2026（R8） 年度※予定	719,756	【事業収入等】 323,057 【国補助金等】 0 【市町村からの補助金等】 201,246 【八戸市からの業務受託及び指定管理等】 144,207 【負担金収入（圏域町村分他）】 2,910 【会費収入】 12,125 【家賃収入】 35,334 【雑収入】 877

(2) 支出

年(年度)	総支出(千円)	内訳(具体的に記入すること)
2021(R3) 年度	556,525	【一般管理費等】385,109 【情報発信・プロモーション】45,794 【受入環境整備等の着地整備】33,290 【コンテンツ開発(観光資源の磨き上げ)】12,506 【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】6,231 【その他】73,595 ・即売事業、貸館事業、駐車場事業、物品等販売事業他
2022(R4) 年度※実績	625,122	【一般管理費】315,347 【情報発信・プロモーション】49,070 【受入環境整備等の着地整備】10,236 【コンテンツ開発(観光資源の磨き上げ)】1,194 【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】434 【観光イベントの開催費】12,390 【その他】236,451 ・即売事業、貸館事業、駐車場事業、物品等販売事業他
2023(R5) 年度※実績	695,358	【一般管理費】409,892 【情報発信・プロモーション】47,464 【受入環境整備等の着地整備】94,483 【コンテンツ開発(観光資源の磨き上げ)】7,416 【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】3,825 【その他】132,278 ・即売事業、貸館事業、駐車場事業、物品等販売事業他
2024(R6) 年度※予定	771,416	【一般管理費】414,164 【情報発信・プロモーション】40,118 【受入環境整備等の着地整備】169,877 【コンテンツ開発(観光資源の磨き上げ)】3,098 【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】4,002 【その他】140,157 ・即売事業、貸館事業、駐車場事業、物品等販売事業他
2025(R7) 年度※予定	771,416	【一般管理費】414,164 【情報発信・プロモーション】40,118 【受入環境整備等の着地整備】169,877 【コンテンツ開発(観光資源の磨き上げ)】3,098 【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】4,002 【その他】140,157 ・即売事業、貸館事業、駐車場事業、物品等販売事業他
2026(R8) 年度※予定	771,416	【一般管理費】414,164 【情報発信・プロモーション】40,118 【受入環境整備等の着地整備】169,877 【コンテンツ開発(観光資源の磨き上げ)】3,098 【マーケティング(市場調査、ブランド戦略等)】4,002 【その他】140,157 ・即売事業、貸館事業、駐車場事業、物品等販売事業他

※当団体の正味財産増減計算書に基づく

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針**【収益事業】**

物産品販売事業、宿泊貸館事業、駐車場事業など、自施設を活用した収益事業の売上について、関係指標の動向を基に検討を行い、売上増及び収益増に向けた取組を展開している。加えて、ふるさと寄附金に関する業務を八戸市から受託しており、寄付実績の向上を図ることにより、収入増加を目指す。

【会費】

会費収入について、会員特典の充実、新規会員の獲得に向けたキャンペーンの展開、更には役員等による会員獲得に向けた関係者への呼びかけなどにより、新規会員の獲得に向けて取り組んでいる。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

青森県八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町は、一般財団法人 VISIT はちのへが当該市町村を対象とした地域連携 DMO として、引き続き地域との連携により魅力的な観光地域づくりを推進していくことに同意している。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携 DMO（県単位以外）や地域 DMO と重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）**10. 記入担当者連絡先**

担当者氏名	西野 正紀
担当部署名（役職）	企画広報課 主査
郵便番号	〒039-1102
所在地	青森県八戸市一番町一丁目 9 番 22 号
電話番号（直通）	0178-70-1110
F A X 番号	0178-80-7348
E - m a i l	masanori_nishino @visithachinohe.or.jp

1 1. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	青森県八戸市
担当者氏名	小関 翔
担当部署名（役職）	観光課 主幹
郵便番号	031-8686
所在地	八戸市内丸 1 丁目 1-1
電話番号（直通）	0178-43-9252
F A X 番号	0178-46-5600
E - m a i l	sho_koseki@city.hachinohe.aomori.jp

都道府県・市町村名	青森県三戸町
担当者氏名	高屋敷 一弘
担当部署名（役職）	まちづくり推進課 総括主幹
郵便番号	039-0198
所在地	三戸郡三戸町大字在府小路町 43
電話番号（直通）	0179-20-1117
F A X 番号	0179-20-1102
E - m a i l	k-takayashiki@town.sannohe.lg.jp

都道府県・市町村名	青森県五戸町
担当者氏名	三浦 姫良倫
担当部署名（役職）	総合政策課 主事
郵便番号	039-1513
所在地	三戸郡五戸町字古館 21-1
電話番号（直通）	0178-62-7952
F A X 番号	0178-62-6317
E - m a i l	tourism@town.gonohe.aomori.jp

都道府県・市町村名	青森県田子町
担当者氏名	村木 孝行
担当部署名（役職）	商工振興課 2 次 3 次産業戦略推進グループ 主幹
郵便番号	039-0292
所在地	三戸郡田子町大字田子字天神堂平 81
電話番号（直通）	0179-20-7115
F A X 番号	0179-32-4294
E - m a i l	muraki0525@town.takko.lg.jp

都道府県・市町村名	青森県南部町
担当者氏名	小村 良伸
担当部署名（役職）	商工観光課 班長
郵便番号	039-0592
所在地	三戸郡南部町大字平字広場 28-1
電話番号（直通）	0178-38-5965
F A X 番号	0178-38-5985
E - m a i l	komura-yoshinobu@town.aomori-nanbu.lg.jp

都道府県・市町村名	青森県階上町
担当者氏名	スワンソン・ニコラス
担当部署名（役職）	産業振興課 主事
郵便番号	039-1201
所在地	三戸郡階上町道仏字天当平 1-87
電話番号（直通）	0178-88-2875
F A X 番号	0178-88-2117
E - m a i l	sangyou@town.hashikami.lg.jp

都道府県・市町村名	青森県新郷村
担当者氏名	福山 雄亮
担当部署名（役職）	企画商工観光課 課長補佐兼商工観光係長
郵便番号	039-1801
所在地	三戸郡新郷村大字戸来字風呂前 10
電話番号（直通）	0178-78-2111
F A X 番号	0178-78-2118
E - m a i l	yu_fukuyama@vill.shingo.lg.jp

都道府県・市町村名	青森県おいらせ町
担当者氏名	鈴木 陸都子
担当部署名（役職）	商工観光課 主任主査
郵便番号	039-2289
所在地	上北郡おいらせ町上明堂 60-6
電話番号（直通）	0178-56-4703
F A X 番号	0178-56-4264
E - m a i l	mitsuko.suzuki@town.oirase.aomori.jp

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町

【設立時期】 平成31年4月1日

【設立経緯】
④その他(地域内の観光協会や物産協会等が統合して、DMOを新設)

【代表者】 佐々木 伸夫

【マーケティング責任者(CMO)】 阿部 寿一

【財務責任者(CFO)】 柿本 誠

【職員数】 91人【常勤29人(正職員20人・出向等9人)、非常勤62人】

【主な収入】
収益事業300百万円、補助金・指定管理等320百万円(令和5年度決算)

【総支出】
事業費 286百万円、一般管理費409百万円(令和5年度決算)

【連携する主な事業者】
ACプロモート、八食センター、湊日曜朝市会、八戸横丁連合協議会、八戸ホテル協議会、JR東日本旅客鉄道盛岡支社、岩手県北バス

KPI(実績・目標)

記入日: 令和6年7月12日

※()内は外国人に関するもの。

項目		2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年
旅行消費額 (百万円)	目標	未設定 (—)	12,191 (—)	12,235 (—)	12,626 (—)	未設定 (未設定)	未設定 (未設定)
	実績	8,630 (—)	10,373 (—)	13,394 (—)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	835 (—)	860 (—)	800 (—)	810 (236)	未設定 (未設定)	未設定 (未設定)
	実績	664 (0.3)	811 (0.8)	846 (2.5)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	39 (—)	40 (—)	41 (—)	42 (—)	未設定 (未設定)	未設定 (未設定)
	実績	33.9 (—)	33.8 (—)	38 (—)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	66 (—)	66 (—)	66 (—)	66 (—)	未設定 (未設定)	未設定 (未設定)
	実績	71.4 (—)	70.3 (—)	70.6 (—)	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
①台湾や英語圏を中心とした、日本の地方部に
残る歴史文化や自然、暮らしぶりとその背景に
あるストーリーに興味関心を持つ外国人旅行者
②首都圏在住で地方独特の文化、地域住民の
暮らしぶり、開放感を感じられる自然に興味
関心が強く好奇心がある旅行者

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
認知獲得のための情報発信強化

【観光地域づくりのコンセプト】
はちのへエリアだからこその“ひとの魅力”と
“暮らしぶり”が守られ、伝わっていること

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・事業者が実施するモニターツ
アーへの参加等の伴走支援

【受入環境整備】
・ガイドプログラムの実施
・種差海岸観光ガイドプログラム
及び意見交換会
・種差海岸遊覧バス及び日曜朝
市循環バスの運行支援
・デジタルスタンプラリー利用
・インバウンド受入体制整備を目
的とした研修実施。

【情報発信・プロモーション】
・「八戸 観光」「八戸 お取り寄せ」など
のキーワード検索をした当エリアに興
味・関心が高い消費者に向けて、様々
な媒体による広告配信
・メディアとの関係性構築による、当地
域メディア上での露出機会の獲得
・台湾にエージェントを配置し旅行会社
やメディア等へ当地域のコンテンツ、宿
泊施設、交通手段等の継続的な紹介
・他DMO等と連携したプロモーションの
実施

